

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後デイサービス ふぁみりあ			
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 25日		～	令和 7年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人 (31世帯)	(回答者数)	児発：8人、放デイ：18人
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 25日		～	令和 7年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育室は国の定めた設定基準よりもかなり広く、のびのびと自由遊びや活動に取り組めます ・ダンスやサーキット遊び・パルーン・大型遊具など体をたくさん動かす活動が楽しめます ・敷地内にグラウンドもあり、外で運動もできます	・療育室が広い為、遊びによってエリア分けをしている。それにより遊びの中でトラブルが少なくなり、好きな遊びや活動に集中できます	・今後、保護者参加型のイベントも考えていきたいと思っています
2	・十分な広さのある療育室で外部委託した専門のスポーツ教室の講師を招き、楽しみながら成長段階に合わせた体幹を鍛える運動やバランス感覚を養うトレーニングを行っています ・団体で行う事で協調性を育み、将来、必要な事を運動を通して経験できます		
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育室が広い分、利用児が気分が高揚すると室内を走り出してしまう		・自由遊びではエリアごとに職員を配置して見守る
2	・宿題のない利用児もいる為、宿題に取り組む利用児が集中できる環境を整えたり、学習面で個別に対応することが難しい		・今後、パーテーションで簡易的な区分けをしたり、出来る時は別室を用意したり、学習できる環境を整えていきたい
3			

事業所名 児童発達支援 放課後デイサービス ふぁみりあ

公表日 年 月 日
利用児童数 37 人 (30世帯)

回収数 26 枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24			2	・部屋も広く体をたくさん動かして帰ってきている ・部屋に入ったことがない為、分からない	・お子さまの遊びによってエリア分けをして工夫しています ・療育室は基準以上の十分な広さを確保しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	1	6	・説明されていないので分からない ・配慮してくれていると思う	・人員配置については児童5人に対して指導員2人と基準を順守し、余裕を持った配置をしています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	4		2	・療育室に入ったことが無いのでわからない ・HPをみる感じではそう思う ・子どもに合わせて考えてくれている	・お子様の特性に応じて、分かりやすい支援を心がけています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			2	・部屋からロッカーが少し離れていると自分で片付けにくいように思う ・HPをみる限りはそう思う	・清潔で安全で療育でき、お子さまのびのびと過ごせる空間作りに努めています
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	2		2	・変化や成長を見てくれている ・個性に合わせて支援しているように思う	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1		2	・支援プログラムを見たことがないので分からない ・連絡帳や送迎時の話を聞くとそう感じる	・支援プログラムは現段階では作成中、1月末に公表します
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25			1	・親の思いや考えを取り入れているように思う	・支援計画は職員で話し合い、個性や特性・成長に合わせて作成し、保護者様やお子さまのニーズに答えた支援計画の作成につとめています
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		1	・移行支援についてはよくわからない ・兄弟の事も相談してみたい	・移行支援についても就学や就労の際に移行先と情報共有など連携を取り保護者様にもお伝えしていきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2		1	・計画に沿った支援をしているように思う	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	3			・発達や興味に合わせて活動しているように思う	・課題内容を変化させたり、発展させたりして活動を行っています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	12	・放デイのお兄さんお姉さん達と一緒に活動しているようだ ・地域の子ども達との交流はないように思う	・相手先との兼ね合いもあり、事業所としては行っていますが、公園やお買い物等の外出先で地域の人たちとの関わる機会を作るようにしています
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25			1	・支援プログラムについては説明がなかったのでは分からない	・支援プログラムについては出来上がり次第、保護者さまにもご案内致します
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26				・計画書を見ながら説明を受けた ・きちんと説明があったが、もう少し詳しく時間をかけて聞いてみたかった	・支援計画を提示して説明はしていますが、保護者様の疑問点や質問にはすぐお答えするようにしています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	2	6	・痛痒について相談したら、どう接したら良いか相談にのってくれた ・子育ての悩みや進路についてなどの研修会を開いてほしい	・個別の相談は、送迎時や電話などでも対応しているが、保護者様が参加できるような研修会も情報提供できるよう努めています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26				・連絡帳に色々詳しい様子が書かれている ・連絡帳に書いた質問や悩みに送迎時や電話等で答えてくれた	・お子さまの様子や健康発達について、送迎時などにお伝えしています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3		1	・定期的な面談があり、相談している ・子育てに対しての不安が多いので、もう少し相談したい	・定期的な面談だけでなく、子育ての悩みや相談できることを周知できるよう努めます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23		1	2	・親身になってくれて感謝している ・誰に相談したらよいかわからない	・保護者様の立場に立って支援ができるように心がけています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	6	7	・父母の会は聞いたことがない ・前回は参加できなかったからわからない ・保護者参観をまた開催してほしい ・保護者同士の交流はほとんどない	・父母の会は当事業所では行っていないが、保護者様参加のスポーツ教室などやイベントで保護者同士が交流できる機会を提供していけるよう考えています
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	3			・送迎時、相談に乗ってくれて助かっている ・まだ相談した事がない ・相談した時は送迎時や電話ですぐに対応してくれていると感じている	・なんでも相談しやすい関係性を築いていけるよう心がけています。 ・職員間で相談や申し入れがあった際は、すぐに情報共有や対応ができるように心がけています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1			・言葉でコミュニケーションが難しい時も色々工夫して支援しているように思う	・口頭で意思疎通をするだけでなく絵カードなど視覚的に支援したりと、子どもに応じて対応するよう心がけています

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		5	・HPで活動の様子を見るとすごく楽しそう ・いつも楽しみにしています ・子どもの様子が見られていいと思う ・HPをみないので分からない	・活動やイベント、療育の様子が分かるような内容になるように努めています ・自己評価表に関しては毎年、HPに掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1	・注意していると思う	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			4	・マニュアルの周知はされていないが対策されている	・各マニュアルを策定し職員間で周知や対応方法の確認を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26				・避難訓練を定期的に行っている様子をHPでみています ・定期的に行われているので、落ち着いて参加できている	・年に3回、火災・地震・水害の訓練を行ったり、動画を視聴して分かりやすく説明を行っています ・訓練後振り返り、反省点を話し合っています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1		1	・安全を配慮していると思う ・計画は分からないが安全については配慮して支援されていると思う	・色々な想定をして、安全に配慮して療育を行っています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1			・小さな傷でも送迎時に説明がある ・園での傷も伝えてくれる事があった	・トラブルが発生した時や小さな怪我でも、すぐに対応し保護者様に連絡し詳細な説明をするように努めています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25			1	・安心感が分からないが、行きしぶりは見られない	・お子さまが事業所を安心して通所できるような環境作りを今後も整え、楽しく過ごせるようにつとめていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			・自分から事業所用の鞆を用意するほど楽しみにしている ・「ふぁみりあだよ」と声掛けすると玄関までダッシュしている ・感謝しています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 1 月 27 日				
児童発達支援・放課後等デイサービス ふぁみりあ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		・自由遊びの時は、遊びによってスペース分けをしているので、トラブルも少なく職員も対応しやすい	・エリア分けしていても、一つの玩具に利用児が集中した時にはトラブルに発展する事がある為、職員による見守りと声掛けをする
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2	・職員は基準以上に配置しているが、送迎が突発的な出来事があると、手薄になる事もある ・時間帯（15から16時台）により手薄になる時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	・利用児が登所してからの流れがスムーズにできるよう動線を工夫している ・特性に応じて対応し支援している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		・毎日の掃除は勿論、クリーンデーを決め掃除だけでなく活動しやすいように、その都度、環境を変えている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	・登所後に体調不良になった利用児は別室で過ごせるように対応している	・宿題に取り組む利用児に対して別室を使用して集中できる環境を整えたいが、余剰の職員配置が必要なため難しい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	3	・定期的（頻繁に）ミーティングを開き、業務の効率化や改善策を職員同士が話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・評価表の結果から保護者の意向を汲み取り、ミーティングで改善につなげられるようにしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・業務や保護者や利用児の様子など小さな気づきでも、毎日の申し送りで情報共有して解決していくようにしている	・全体のミーティングで意見がしにくい場合は個別に時間を取り、話し合う機会を設けていくようにする
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	6	・外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		・年に1回は全社員が研修に参加するようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	2	・令和7年1月中旬にHPで公表する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14		・保護者だけでなく、療育中の様子からもニーズをくみ取り支援計画に反映させるようにしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	1	・日々のミーティングでも個々の支援の在り方に対して話し合い、計画を作成する際も再考している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14		・支援計画は情報共有され、計画に沿った支援が行われるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		・計画の中の「本人支援」「家族支援」を重点に置き支援し、移行支援は必要に応じて対応している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	・ミーティングで話し合い、反省して改善していつている ・活動は、その日のリーダー主導の元、利用児により内容を変えていき、楽しめるようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14		・利用児によってできる限り対応できるよう努力している	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	3	・毎朝、出来る限り（送迎に出る職員以外）は日々の活動や利用児について申し送りをしている	・保護者の要望により、早迎えがあると全職員揃っての打合わせは難しい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	3	・全職員に支援終了後の打合わせは、パートなど早帰りの職員もいる事から難しい為、連絡ノートに記載し情報共有している	・情報共有しているが、内容が全職員に入っているか疑問が残る為、重要な点については翌日の申し送りで徹底する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		・より良い支援や療育になるよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		・期日を厳守して職員話し合いの元、見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	2	・主に児発管が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14		・救急指定の協力医療機関や役所・園・学校・相談支援事業所等、関係機関と連携して支援が行えるように努めている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		・相談支援事業所を軸に連携が取れるように努めている	・併用利用先が多い利用児の場合、利用事業所や関係機関がすべて揃っての担当者会議は、難しい場合がある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2	・移行の際は、情報共有ができるよう努力している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	14			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	2		
	31	(31は、事業所のみ回答)	11	3	・必要な場合は、相談支援事業所を通して連携したり、急を要する時は直接働きかけている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	12	・相手先もある事なので難しい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14		・定期的な面談だけでなく、送迎時や電話などで、共通理解を図るよう努めている	・保護者からも相談しやすいように更に努力していけるよう努めたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6	・必要性がある場合、個々のケースに合わせて対応している ・相談対応や助言を行い内容により適切な機関に取り次いでいる	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	・支援プログラムについては、HPで掲載次第、案内していく	・支援プログラムについては職員で話し合い作成している
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		・保護者だけでなく、本人の意向（ニーズ）を療育中の様子から汲み取り支援計画に反映させていくよう努めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		・送迎時に保護者から聞いたどんな案件もすぐに報告し対応を話し合い、必要な助言や支援が出来るように努めている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	5	・以前、保護者参加型の参観を開催し、保護者が交流する機会を設けたが、今後も開催できるように努力したい	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	3	・相談事があれば、すぐ対応できるよう心がけている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		・療育の様子や活動の内容をHPに掲載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		・意思疎通ができるように配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	5	・各マニュアルを職員間で周知しているが、保護者から問い合わせがあれば対応していく	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	・業務継続計画は作成中 ・災害発生のための飲料水、非常食は一定数備蓄済 ・年に3回以上、火災・地震・水害の避難訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		・保護者に健康状態に関する聞き取りをして状況が変わる度、知らせて貰うよう声掛けしている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		・健康状態の聞き取り時に調査し、現在は医師の指示書が必要な重度のアレルギー児童の該当なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		・ヒヤリハットがあれば、すぐに管理者に報告し、即日対応策や再発防止を講じている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		・研修を行い、ニュースで取り上げられた案件を題材に話し合ったりしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1	・どんな場合が該当するか等、もし行わなければならない場合の手順も、職員や保護者に説明している	